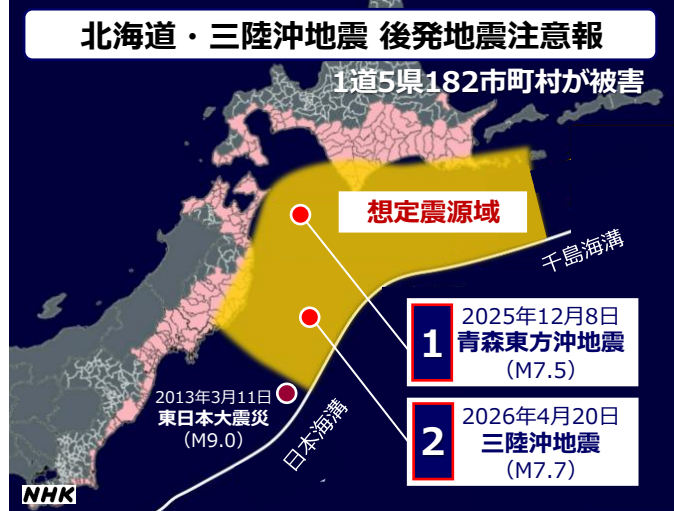
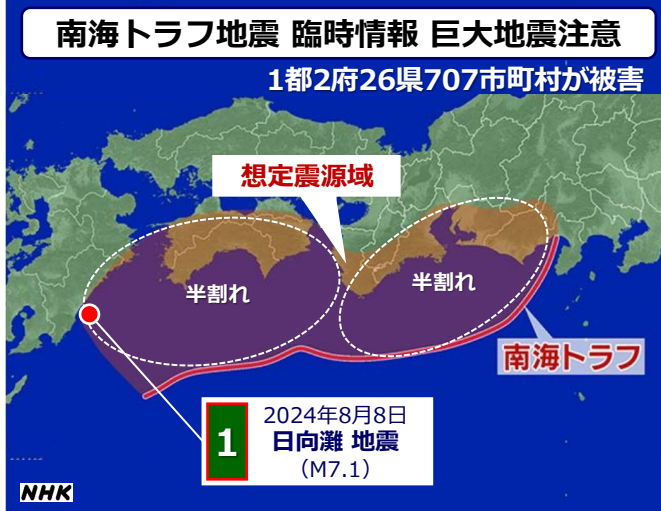


- [南海トラフ地震] [北海道・三陸沖地震]の想定震源域と、制程後に発生した[地震注意]について！
- 南海トラフ地震 [臨時情報]と、北海道・三陸沖地震 [後発地震注意報]の相違点：被害軽減/備え！私たちにできること…忘れていませんか？“南海トラフ地震 臨時情報”！日頃の備えが 最も大切！

「南海トラフ地震」「北海道・三陸沖地震」想定震源域

内閣府・気象庁
NHK 資料より



「臨時情報」と「後発地震注意報」について

内閣府・気象庁
日本気象協会 資料より

《 南海トラフ地震 》

《 北海道・三陸沖地震 》

想定震源域/周辺で地震発生《M6.8/7.0以上》

・ **臨時情報 (調査)** : 評価委員会で現象の評価

M8以上 「臨時情報」巨大地震警戒 (半割れケース)

防災対応の呼びかけ (巨大地震警戒対応)

- ・ 事前避難 (一部避難)
- ・ 日頃からの備え再確認
- ・ 迅速な避難体制の準備

M7以上 「臨時情報」巨大地震注意 (一部割れケース)

防災対応の呼びかけ (巨大地震注意対応)

- ・ 日頃からの備え再確認
- ・ 迅速な避難体制の準備

「後発地震注意情報」

防災対応の呼びかけ

- ・ 日頃からの備え再確認
- ・ 迅速な避難体制の準備

「臨時情報」と「後発地震注意情報」の相違点

内閣府・気象庁
日本気象協会 資料より

項目	南海トラフ地震 臨時情報	北海道・三陸沖地震 後発地震注意情報
対象エリア	西日本から中部の太平洋側	北海道～東北沖 千島海溝・日本海溝
きっかけ	M6.8以上の地震・スロースリップ	M7.0以上の地震
評価委員会	臨時情報 (調査) …評価	—
情報の性格	巨大地震 警戒 (一部避難) と 注意	後発地震に対する 注意
主な狙い	巨大地震前の被害軽減行動の促進	後から起きる巨大地震への備えの強化

▶ 臨時/注意情報の期間1週間…人々がどの程度我慢できるか、地震に注意して生活できるかの期間で設定。南海トラフ地震は30年以内70～80%確率で起こると考えられています。

— 会員の皆さまへ 「災害は忘れたころにやってくる」日頃からの備えを！ —

- ❖ 世界的に想定震源域M7以上の地震が起きれば、確率は1000回に1回 ▶ 100回に1回程度！
- ❖ 日頃、避難できる体制準備を ▶ 避難経路/飲み物/食料品/常備薬！ 備えあれば憂いなし！